

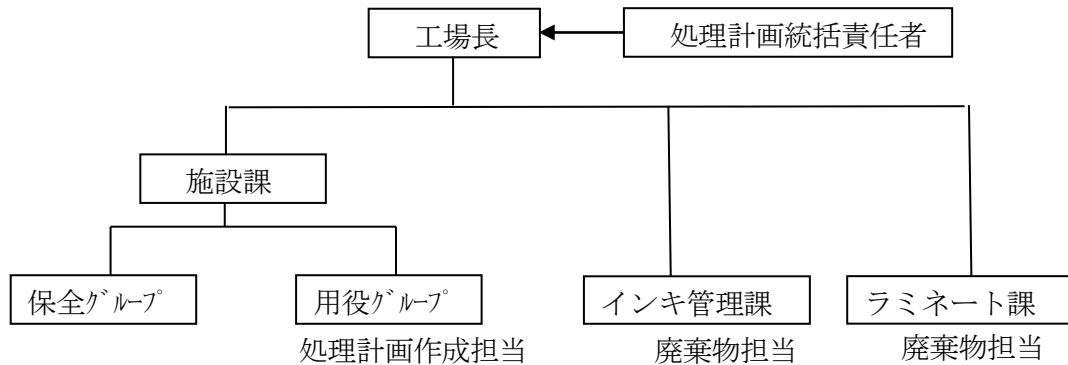
様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 6月 7日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者 住 所 千葉県船橋市習志野4丁目16番12号 氏 名 朋和産業株式会社 代表取締役 小澤 善孝 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 047-456-5011	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	朋和産業株式会社 干潟工場
事業場の所在地	千葉県旭市さくら台1番4号
計画期間	令和 6年 4月 1日 から 令和 7年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：印刷・同関連業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額： 276億円
③従業員数	615人(正社員 353人、常勤関係職員 262人)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	印刷工程 → 引火性 廃油 → 有償物 → 委託処理 (再生処理)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
	排 出 量	225.0 t	0.0 t
	（これまでに実施した取組） 昨年と同様に生産予定の見直しを行い、廃棄量削減を実施 加工前にインキの必要量を割り出し、又、通常廃棄と有価引取りとを区別し、無駄な排出を抑制する。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
	排 出 量	200.0 t	0.0 t
	（今後実施する予定の取組） 廃液の有価引き取りを推進し、目標値以内に抑える。 生産予定の見直しも継続し、排気量削減に努める。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃油・・・①廃インキ→油性インキ・水性インキに分別 ②廃インキ→有価廃棄・通常廃棄との分別 ③廃接着剤
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状と同様の取り組みとなります。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
	全処理委託量	225.0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	225.0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・適正処理の確認		

(第5面)

②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類		廃油（引火性）	
	全 処 理 委 託 量		230.0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	（今後実施する予定の取組） 現状維持に努める			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 5 年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）		225.0 t	
	（今後実施する予定の取組等） 2020年度から電子マニフェスト義務化の為、電子マニフェストの 運用を開始しました			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。